

LX9 MicroBoard 搭載 cdce913 設定 bit ファイルの使い方

○ファイル一覧

- ・ cdce913_ssc_off.bit cdce913 の SSC を無効にする bit ファイル
- ・ cdce913_ssc_on.bit cdce913 を LX9 MicroBoard 工場出荷状 (SSC 有効) にする bit ファイル

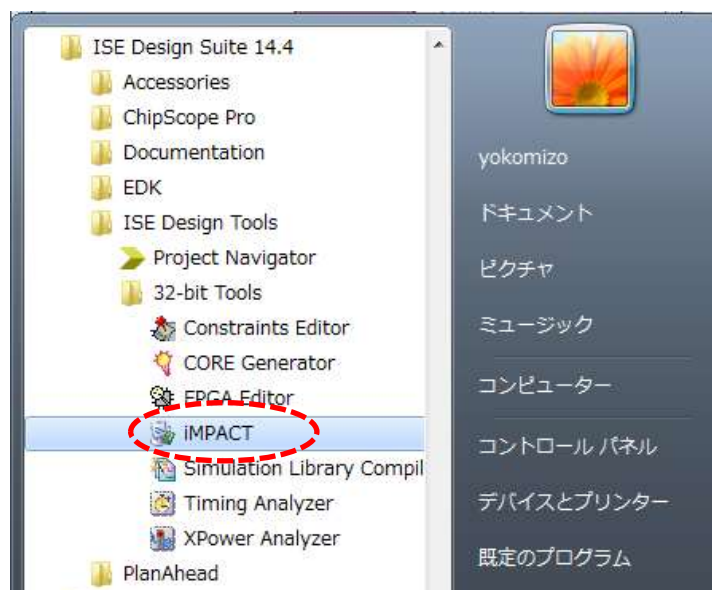
免責事項

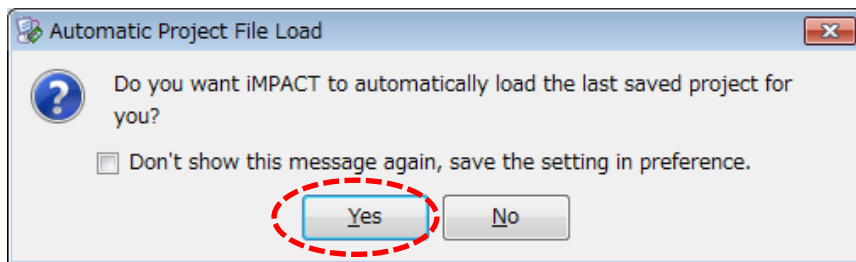
本データの使用が原因として発生した損失や損害について、(有) ひまわり および 著作者は一切責任を負いません。著作者：横溝憲治 fpga@hmwr-lsi.co.jp

Obit ファイルの書き込み方法

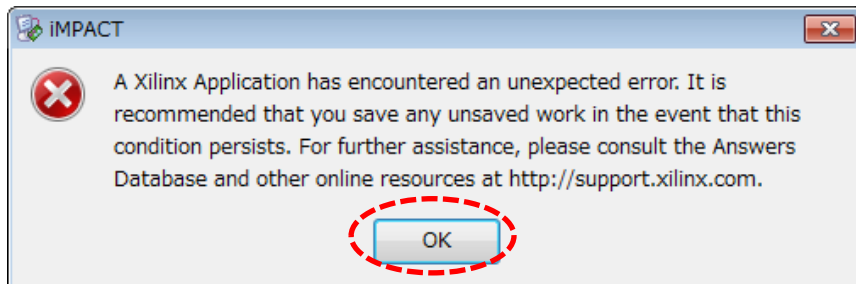
- ・ PC と LX9 MicroBoard を UART 用 USB ならびにプログラミング用 USB の 2 回線で接続します。
- ・ DIP スイッチ 1 を off に設定
- ・ PC でターミナルソフトを起動します。UART 用 USB に割り当てられてポート番号にボーレート 2400bps で接続します。
- ・ iMPACT を起動します。

スタートメニューから「Xilinx Design Tools」→「ISE Design Suite 14.4」→「ISE Design Tools」→「32-bit Tools」→「iMPACT」を選択

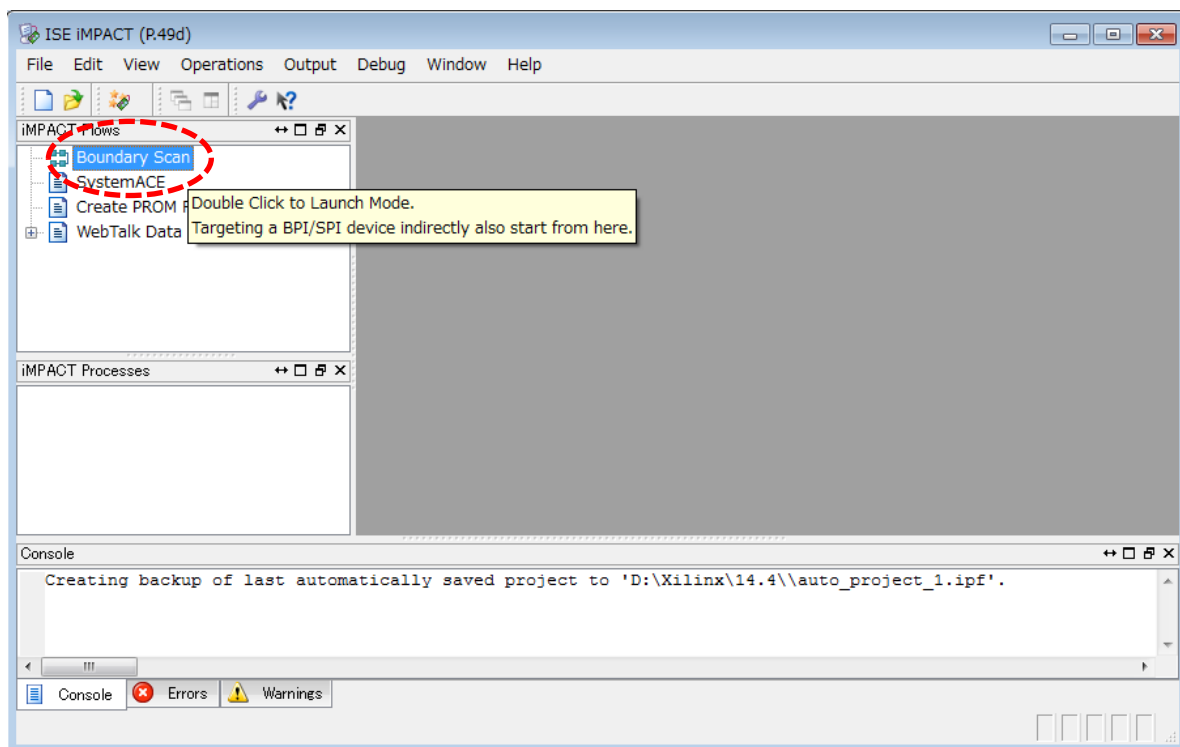




Yes を選択

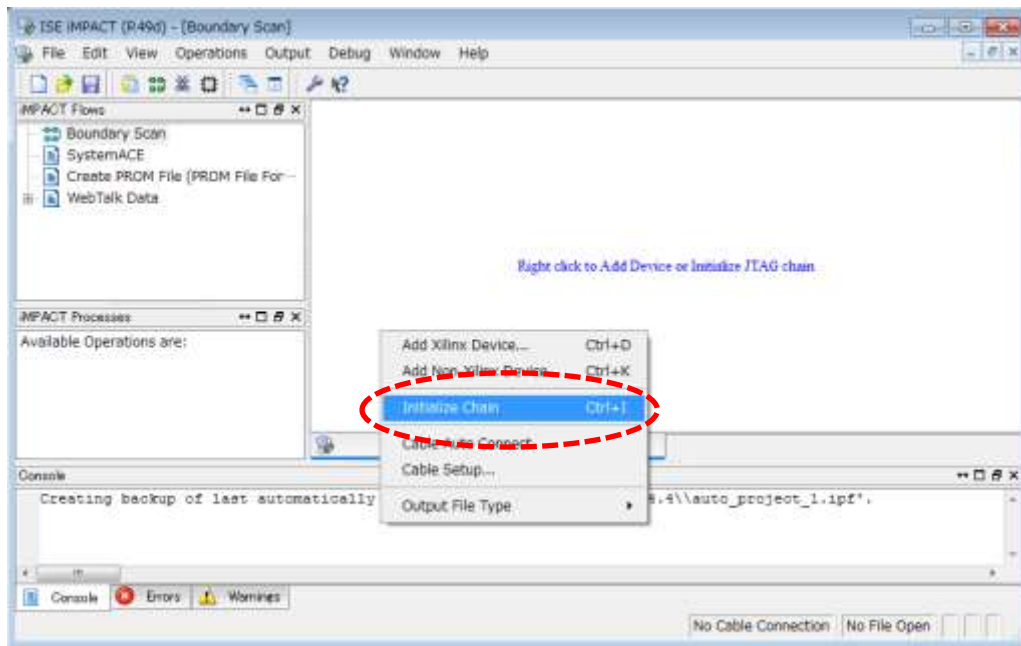


OK をクリック

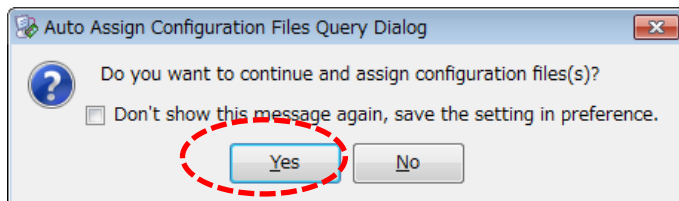


「Boundary Scan」をダブルクリック

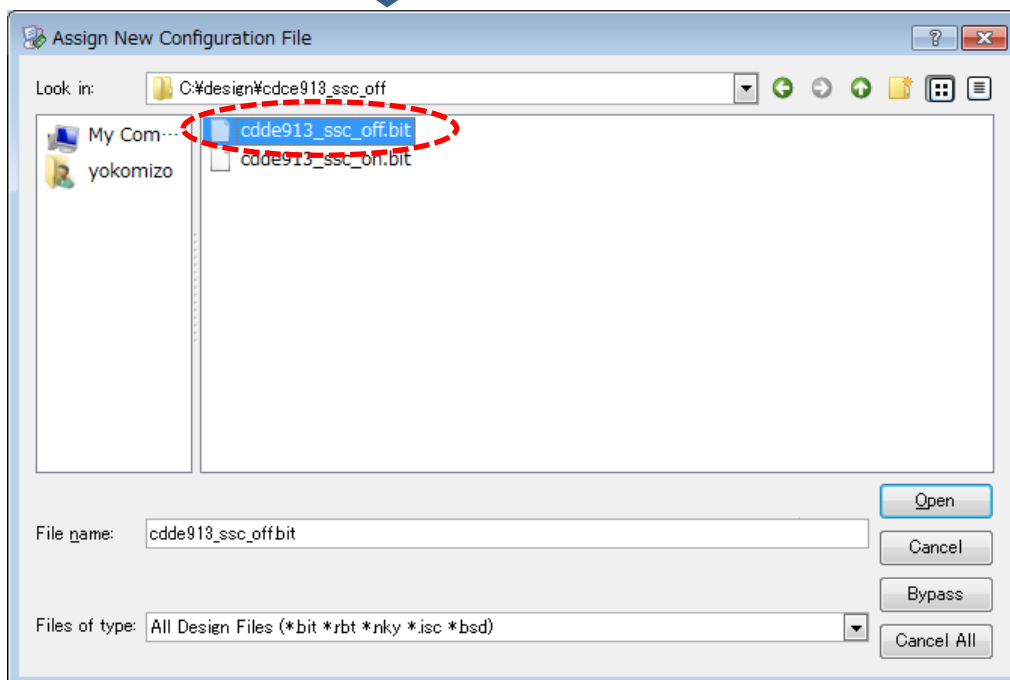




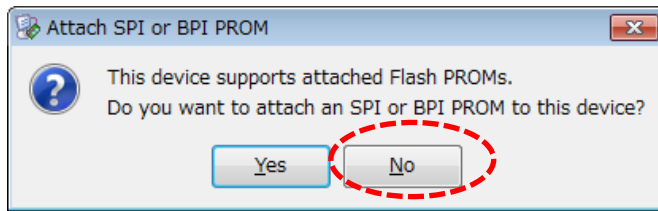
BoundaryScan のウィンドをマウス右ボタン押して、Initialize Chain 選択して FPAG を検出する



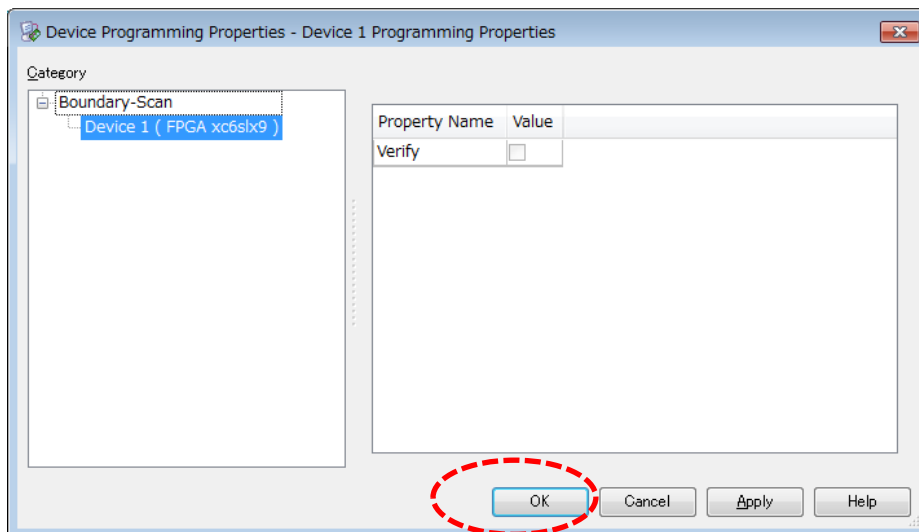
Yes を選択



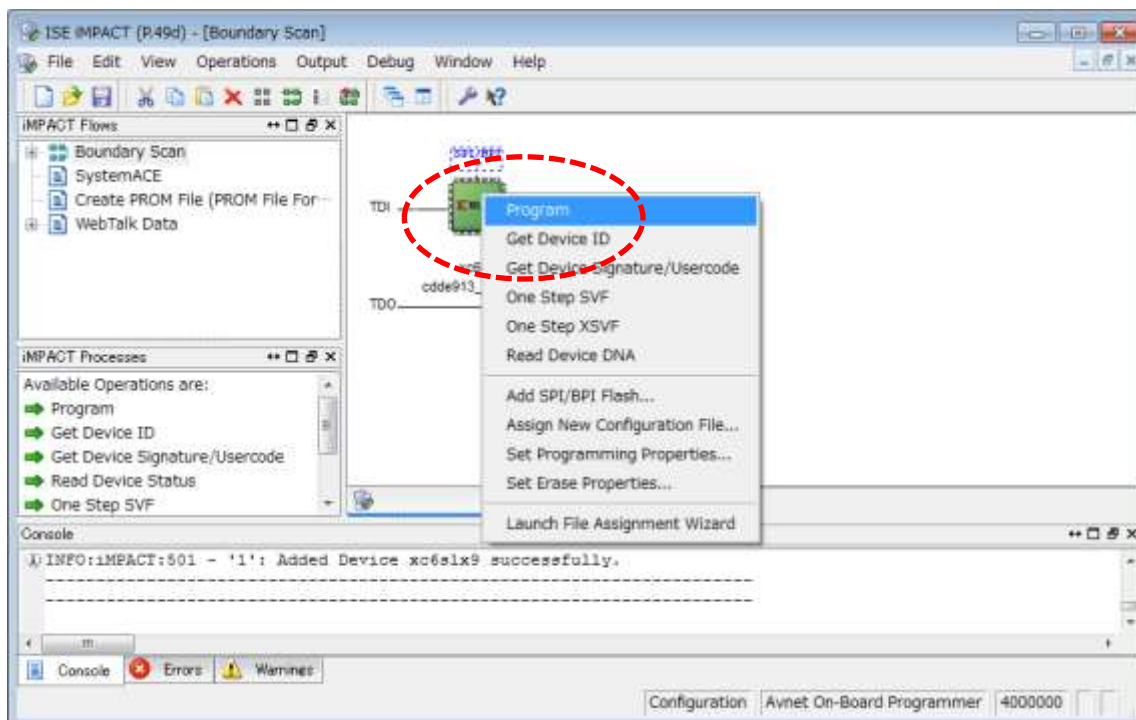
cdce913_ssc_off.bit 選択、工場出荷状態に戻したい場合は cdce913_ssc_on.bit



PROM データは使わないので No を選択

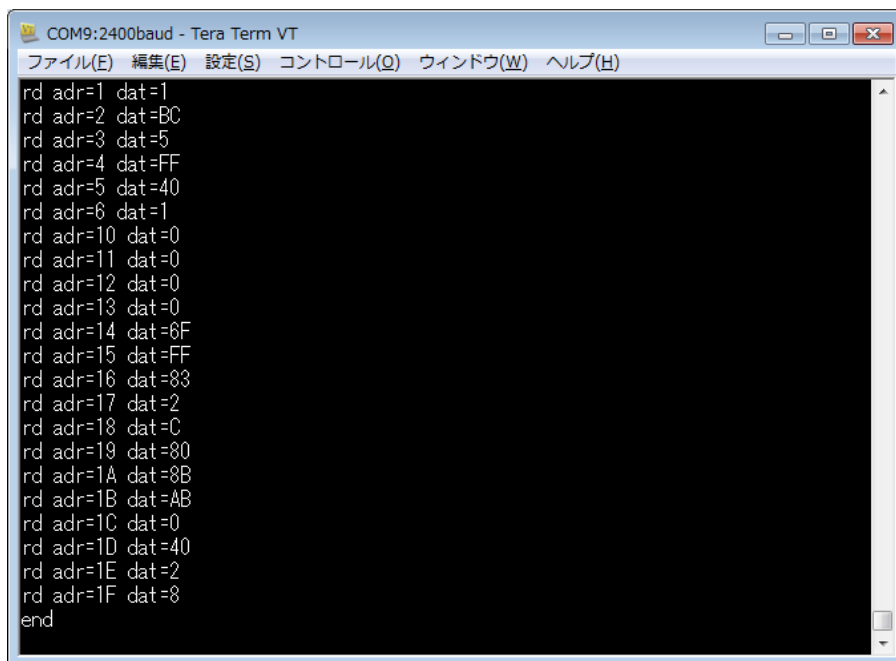


OK をクリック



FPGA へのプログラミング実行、デバイス上でマウス右ボタンを押して Program





```
COM9:2400baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
rd adr=1 dat=1
rd adr=2 dat=BC
rd adr=3 dat=5
rd adr=4 dat=FF
rd adr=5 dat=40
rd adr=6 dat=1
rd adr=10 dat=0
rd adr=11 dat=0
rd adr=12 dat=0
rd adr=13 dat=0
rd adr=14 dat=6F
rd adr=15 dat=FF
rd adr=16 dat=83
rd adr=17 dat=2
rd adr=18 dat=C
rd adr=19 dat=80
rd adr=1A dat=8B
rd adr=1B dat=AB
rd adr=1C dat=0
rd adr=1D dat=40
rd adr=1E dat=2
rd adr=1F dat=8
end
```

ターミナルソフトに FPGA からのメッセージを表示される。

これで cdce913 への設定完了です。

CDCE913 の設定がおかしくなってクロックが停まった場合は、インバータからのクロックで動作させるために図 7 の様に LX9 MicroBoard の DIP スイッチ 1 を ON、J5 端子の PIN1 と PIN7 を接続してから cdce913_ssc_off.bit を書き込んでください。インバータからのクロックの周波数がずれていてターミナルソフトの表示が文字化けする場合がありますが、CDCE913 の設定書き込みはできるはずです。工場出荷状態に戻したい場合は cdce913_ssc_on.bit を使ってください。

